

=== 2026 年台湾部会認証式に参加して ===

2026 年日本部会認証式が行われた一週間後、台湾部会の認証式が台北市内「Courtyard by Marriott Taipei Downtown」にて行われました。

認証式に先立つウェルカムパーティーは「欣葉本店」にて行われた。前週の日本部会認証式でテーブルを共にした国際会長である Dr. Julio Rodoliges 御夫妻と韓国部会代表の Dr. Kwong 会長をはじめとする韓国部会、及び台湾部会執行部の面々が集まる中、日本部会からは富士谷前会長、鈴木前副会長御夫妻、小野常任理事、森永常任理事、鈴木貴規フェロー、塩原佳世新フェローおよび秋山逸馬国際交流委員が参加し和やかに行われた。「欣葉」は訪台されたある方には馴染みのある有名店で、歓迎会が行われた日時が土曜日の夕刻という事もあり、多くの日本人観光客が沢山食事をされていた(fig1)。話がつきる事はないのだが、翌朝のエキスカーションは各部会から一人ずつ講演者を出す「Tri-Section Implant Forum」が行われる為に定時での散会となった(fig2)。

6 月 14 日は Plume Rain Season なこともあり早朝から小雨が降る中、エキスカーションとしての「Tri-Section Implant Forum」が国泰綜合病院 (Cathay General Hospital) にて行われた。台湾部会からは Dr. Yang 会長が御自身の治療経験に基づく治療計画と今後のデジタル機器を用いたインプラント治療について、日本部会からは鈴木貴則フェローがエステティックゾーンにおけるインプラントの施術時期と骨組織について、韓国部会からは Dr. James Kim 前国際理事が「サイナスリフト施術の術者の基準」について各一時間程度の口演を行った(fig3)。このような学術交流は 2019 年に合意された三国姉妹提携書の中にも含まれているのだが、提携合意後実際に行われたのは初めてであり台湾部会も暗中模索の状態で行われた。このフォーラムに関しては Webex にてストリーミング配信が行われたのだが(fig4)、情報が錯綜し日本部会会員への連絡で「Zoom 配信」と誤った連絡になった事に関して申し訳なく会員の皆様にはお詫びを申し上げます。この合同フォーラムからは足立徹フェ

ローと小林菊生マスターフェローが合流した。

2026 年度台湾部会認証式は、定刻通り 17 時から始まり今年は 7 名のニューフェローが承認された(fig5)。TICD 新規フェローは多くの経験を経た先生になる傾向があり、本年も様々な組織の理事や会長経験者が多いと思われた。JICD は全員で 10 名、マスターフェローである小林菊生先生が参加されていた為、台湾と日本の長きに渡る交流と親交の深さを示す認証式となった。認証式後の台湾部会総会を経てガラディナーになったのだが、TICD では生バンドの演奏を聴きながら会食をするため後半はカラオケ大会の様になり Dr. Julio 国際会長も 4~5 曲のマイクを持ち、「チャチャチャ」の様なラテン系の演奏には国際会長御夫人もダンスを披露する楽しい会となった(fig6)。

(秋山逸馬記)



Fig1: 店外では送迎の車と日本人観光客が溢れる



Fig2: フォーラムポスター



Fig3: フォーラム後 ICD メンバーで

6月15日發布「日、韓、台等牙科專家薈萃 進行口腔植體學國際學術交流」新聞稿
媒體曝光情形如下：
報紙：台灣新生報、民眾日報
網路：聯合新聞網、自由健康網、風傳媒、中華日報
網站：台灣新生報網站、
台灣民眾電子報、華人健康網、Yahoo奇摩新聞、
MSN新聞、LINE Today
共計12次

植牙不再靠「手感」！日韓台牙科權威齊聚台灣 數位植牙減少傷口範圍-聯合新聞網
<https://udn.com/news/story/7266/9567296>

國際口腔植體學學術研討會在台舉行 日韓台交流技術趨勢-自由健康網
<https://health.ltn.com.tw/article/breakingnews/5472958>

國泰醫院舉辦國際口腔植體學學術研討會 日、韓、台牙科專家技術交流-風傳媒、MSN新聞
<https://www.storm.mg/article/11141641>

日、韓、台等牙科專家薈萃 進行口腔植體學國際學術交流-中華新聞雲、LINE Today
<https://today.line.me/tw/v3/article/XYK7g0X>

口腔植體學國際學術交流 日韓台專家齊聚-台灣新生報、台灣新生報網站、Yahoo奇摩新聞
<https://tw.news.yahoo.com/%E5%8F%A3%E8%85%94%E6%A4%8D%E9%AB%94%E5%AD%B8%E5%9C%8B%E9%9A%9B%E5%AD%B8%E8%A1%93%E4%B%A%A4%E6%B5%81-%E6%97%A5%E9%9F%93%E5%8F%B0%E5%B0%88%E5%AE%B6%E9%BD%8A%E8%81%9A-133015551.html>

日、韓、台等牙科專家薈萃，進行口腔植體學國際學術交流-民眾日報、台灣民眾電子報
<https://www.allnews.tw/news/91019>

日韓台牙科專家薈萃！數位植牙、前牙美學3大科技，引領口腔植體學新趨勢-華人健康網
<https://www.top1health.com/Article/248/98196>

Fig4: 台湾国内向けメディア宣伝



Fig5: 2026 年度台湾部会認証式



Fig6: 舞台にて皆で大いに歌い踊る

2026年6月14日、台湾・台北で開催された「Implant Symposium Taiwan2026」に参加しました

日本・韓国見を共有する大変意義深い会でした。なかでも鈴木貴規先生の講演「Implant Timing in the Esthetic Zone」は、従来のインプラント治療の枠にとどまらず、審美性・機能性・長期予後を総合的に捉えた、非常に素晴らしい内容でした。単なる埋入技術の講演ではなく、患者さん一人ひとりの状態や希望に寄り添い、最適なタイミングと治療計画を考える姿勢が強く伝わりました。最先端でありながら、患者中心の温かさを感じる講演で、大きな刺激を受けました。

(フェロー 足立 徹)

【TICD 台湾部会参加報告】

私は 6 月 13 日の夕方に台北入りし、老舗台湾料理店「欣葉創始店」にて開催された前夜祭から参加致しました。

欣葉の台湾料理は初めて頂くメニューも多く、どれも大変美味しく印象に残りました。同じ円卓では英語、中国語、韓国語、日本語など様々な言語が飛び交い、国際色豊かな雰囲気の中で大変盛り上がっておりました。(Fig1)

翌 14 日午前は、Dr. Yang のご勤務先である国泰総合病院にて開催されたインプラントセミナーに参加致しました。Dr. Yang、Dr. Suzuki、Dr. Kim によるプレゼンテーションは非常に内容が充実しており、それぞれの先生方の豊富な経験と知見に基づく講演に大変感銘を受けました。

夕方から開催された認証式は JICD と比較すると規模はややコンパクトでしたが、厳かな雰囲気の中にも終始アットホームな空気が流れており、大変温かみのある式典でした。

認証式後のディナーでは美味しい台湾料理を頂きながら、多くの先生方と交流する機会に恵まれました。偶然隣席となった Dr. Kim からは午前中のセミナー内容につ

いてパソコンを用いながらさらに詳しくご説明頂き、ご講演の症例が難症例であったこと、韓国製品の材料を主に使われていた事等さらに深掘りした内容を拝聴する事ができました。(Fig2)

また前夜祭同様に円卓では様々な言語が飛び交い、海外の先生方とも親睦を深めることができました。生演奏によるカラオケ大会も大変盛り上がり、台湾部会ならではの温かい交流の場となっておりました。(Fig3、4)

今回私自身の認証式からわずか1週間後でのTICD参加となり、右も左もわからない状態での参加でしたが、国内外を問わず多くの先生方から温かくお声掛け頂き、大変心強く感じました。学びだけでなく、人とのつながりの大切さも改めて実感できた非常に有意義な時間でした。

このような貴重な機会を頂きました事に心より感謝申し上げます。

(塩原佳世 記)



Fig1：前夜祭 和気あいあいと楽しみました！



Fig2 : 認証式後のディナー会場にて DrKim の講義



Fig3 : ディナー中の記念撮影



Fig:4 認証式後のディナーの料理。美味しいお料理ばかりでしたが、特にライスヌードルと泡飯（スープご飯）が絶品でした。